

瓦屋がお勧めする風致スポット 奈良市ならまち

ならまち奈良町は近鉄奈良駅の南東部に位置する太平洋戦争の戦火を免れた市街地です。

南側1/4ほどは世界遺産 元興寺の旧境内で都市景観形成地区となっておりま

す。元興寺本堂の瓦屋根は行基葺きという特殊な葺き方で、屋根の一部には飛鳥時代に作られた瓦が現在も使用されています。

ならまち界隈には伝統的な格子の町屋が再現されており、当時の生活様式を見ることが可能です。町屋の造りは俗にいうウナギの寝床。間口の幅に依りて課税されていた時代、節税対策として生み出された、間口が狭く奥に長い家屋です。



ならまちの軒先にぶら下がっている朱色のぬいぐるみは、庚申さんのお使いの申(サル)を模った魔除けです。災難が家に入つてこないよう玄関先に吊るされます。災いを代わりに受けて下さる身代わり申(庚申さん)とも言われます。ならまちにある庚申堂などでも大小様々な身代り申が販売されています。

猿沢池からほど近い元林院(がんりんいん)町は花街として栄えた地域で少数の置屋と芸妓が現在も残っています。



ノスタルジックな街の細い路地を歩くとお洒落なカフェや蚊帳布巾のお店、文化人の住んだ家、海外旅行者がピンポイントで訪れる酒屋など、社寺と鹿以外の発見がきつとあるはずですよ。

知っ得く
コーナー

シリーズ：お屋根の雑学&メンテナンス

《隅棟》

建築物でいう「棟」とは屋根面が交差する一番高い水平部分です。また屋根の分水嶺となる箇所を指します。

軒先や屋根の隅に向かっている棟は「隅棟・降り棟」と呼びます。

屋根の「谷」は水の集まる箇所なので雨漏りトラブルが多く発生します。そして分水嶺である「隅棟」もまた漏水のしがちな箇所です。不思議ではありませんか？

建物建築で「職人は隅で泣く」と表現することがあります。建築作業では柱や骨材、板または壁材等を決まった寸法に切断し組んでいきます。直角、水平、垂直に施工するのは簡単ですが、斜交い(ハス)

カイ施工には熟練した技術が必要です。屋根工事と同様です。

プレゼントコーナー

弊社との出会いとなった「屋根トラブルや、

お屋根に対する思い」をご紹介下さい

抽選で3名様にクオカードプレゼント

応募締切 平成 30 年 3 月 31 日 (土)

はがきに お名前、ご住所、電話番号、

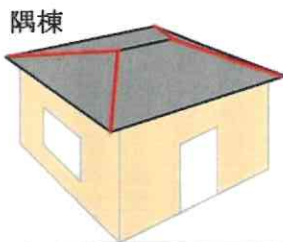
「屋根トラブル・エピソード」(100 字ほど)

をご記入の上、下記までご応募ください。

〒636-1043 奈良県生駒郡斑鳩町神南 3-13-13

孫七瓦工業株式会社 まごひち瓦版編集部にて

抽選結果は発送をもってかえさせていただきます。



隅棟

隅棟工事は屋根職人にとって最も難しい箇所の一つです。道具や技術が進歩してきれいに施工は出来るのですが、経年劣化の出やすい箇所です。気の緩みや油断があつてはならないのと同様、技に磨きをかけ伝承していくことはとても大切なことです。

お客様紹介コーナー

の参加者募集!!

孫七瓦がお屋根の施工や修理をさせて頂いた「お客様紹介コーナー」に掲載させて頂くお客様を募集しております。綺麗になったお屋根やお家を背景に素敵な笑顔の写真とコメント、修理/リフォームに至ったお話などをお聞かせください。
▼まずは編集部にお電話下さい。